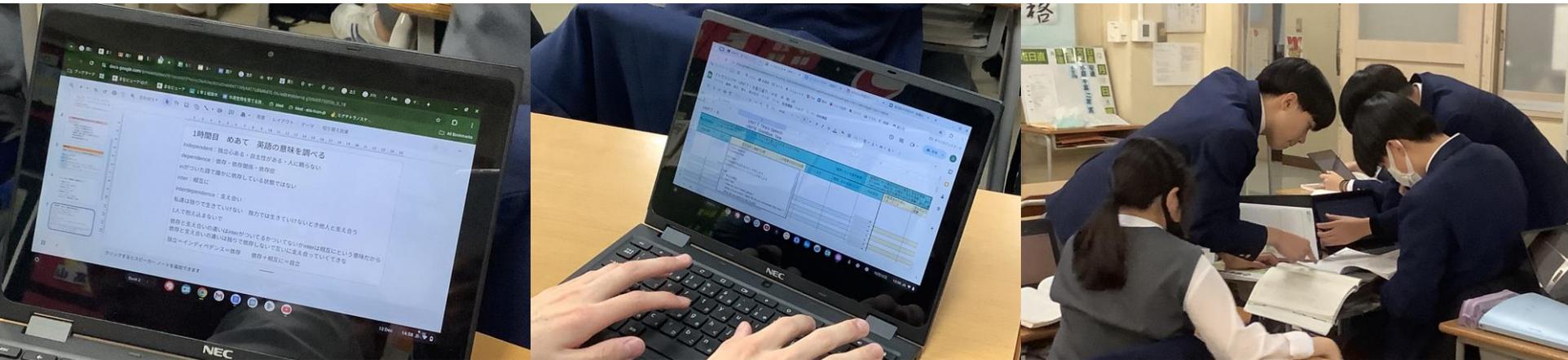


【取組内容】 ①「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

校内授業研究会テーマ

「各教科の楽しさや良さを実感して、粘り強く学ぼうとする生徒の育成」

昨年度の実践を継続し、複線型の学習実践を通して、自ら設定した課題に対し生徒が粘り強く取り組む様子が見られる。



単元の計画をいつでも確認できるクラウド環境を生かし、過去の学びも参考に課題を設定する。

自身の学習の進捗が見えるように作成された学習データの活用。

協働のタイミングは自身の課題に直面した時。又は、より内容を深めたい時に自然に発生する。

教師が学習のペースを握ることが少なく、生徒自身が自らの課題を確認し自身のペースで学習を進める様子が見られる。生徒が自身の進捗を確認したり、自身の取組をいつでも振り返ったりすることができるデータが教師から提供され、活用されていることもその要因の1つとして考えられる。

【取組内容】 ②情報活用能力の育成

情報活用能力を育成する視点が学校内で共有され、系統的な指導が継続されている

	1年次	2・3年次
学習課題・目標	自分自身で学習課題や目標を設定する。	クラウド環境で他者の様子も参照しながら自身に合った学習課題や目標を設定する。
学習への取り組み	クラウド環境を積極的に活用する。その中で活用のルールや情報モラルについて学ぶ。	クラウド環境を活用し、自身に必要な情報を選択し参照する。自身の考えを途中アウトプットし、他者からの意見も参考にしながら粘り強く取り組む。

大切にしていることは、自分で学習を進めることができること。

2年生からクラウド環境を生かした学習をよりよく展開するために、指導する視点が学校で共有されている。情報の扱い方のルールや情報モラルはデータを扱う中で学んでいく。

データの取り扱いで問題が起こった時は、教師が内容を共有して指導にあたる。そして、生徒会組織とも連携し注意喚起することもある。

南河原中学校では「とにかくやってみよう！」という前向きな気持ちを大切にし端末の活用を進め、操作に慣れる雰囲気構築されている。トラブルが起きても、生徒会とも相談し解決策を考えることで生徒がより自分ごととして捉える工夫がされている。

リーディングDXスクール事業 【実践事例】

川崎市立南河原中学校（神奈川県）【指定校】

【取組内容】 ④校務DX（GIGA環境を活用し教員の働き方改革につなげる取組）

クラウド環境を生かした「情報共有の迅速化」と「打ち合わせ時間の短縮」

GIGAスクール構想推進LETTER

Google Chat

GIGAスクール構想推進 LETTER

授業に役立つ! デジタル教科書 (指導者)

GIGAスクール構想推進LETTER.PDF

10月26日、木曜日

3, 7:57

26日（木）昼休み@PC室 文化祭実行委員会（最終回）を行います。実行委員は振り返りの入力を終えて会に参加するようお伝え下さい。

(再掲) 本日は。できる限り早めに開始し 一番下に移動 生徒は変わっていただけると大変助かります。よろしくお願いします。

教職員間での連絡には積極的にGoogle Chatが活用されており、情報共有だけでなく急な予定の変更もスムーズに対応できている。

令和6年度 校内研究

文部科学省「リーディングDXスクール事業」指定校 川崎市「かわさきGIGAスクール」

授業研究テーマ

「各教科の楽しさやよさを実感して、粘り強く学ぼうとする生徒の育成の探究」

R6_南河原中学校 共有ドキュメント

【🏠 2025年1月28日 更新_掲示板 🌈】

🔍 □ 最新の打ち合わせ内容や情報は[こちらから](#)

打ち合わせ時間の短縮とペーパーレスを目的として、資料はクラウド環境を活用し共有されている。指導主事との連絡もクラウド上で行うことができ、困ったときにいつでも相談できる環境がある。

昨年度から取り組んでいることが、学校に浸透している。クラウド環境を生かし、作成段階からの資料共有やオンタイムでなくとも情報のやり取りを行う取組が継続して行われており、業務の効率化に寄与している。